

藤田裕喜 (市政クラブ)

博物館の現状と今後

問 今後の公共施設マネジメント実施計画での方針及び検討状況は。

答 今後検討していくこととなる。

問 市民参画を進めるため、幅広い市民対象の組織設立や、ボランティア募集の考えは。

答 市民参加の組織形態は、個別の目的に沿って集まった方が各自の志に合わせたきめ細かな連携ができるのではと考える。市民には今までも資料等の提供と提供者の知識等を教示して



市博物館

もらい、展示にいかしてきただ。今後も資料を媒介に多くの人の協力を仰ぎたい。

問 コロナ禍での博物館の役割は。

答 適切な感染症対策を講じ、社会から切り離されることなく、活動を継続していきたい。

問 人口8万人のまちの公立博物館として何を指すのか。

答 人口と予算の規模を鑑みつつ、先人が歩んできた歴史や近隣地域との繋がりを知ることができ、かけがえのない資料を次世代に守り伝える場でありたい。

牧野泰広 (自由クラブ)

企業版ふるさと納税について

問 企業版ふるさと納税は、民間企業・市ともにメリットがあると考えますが、実績がたつた2件とはいかがなものか。今後、市はどう取り組むつもりか。

答 本市はゼロカーボンシティ宣言をし、温室効果ガス排出量を実質ゼロに

する取組を進めている。企業の関心も高いこうした事業を含め、より多くの民間企業が企業版ふるさと納税を活用してもらえよう情報発信と共に、企業側の寄附ニーズと市の事業とのマッチングを図っていく。

アサリ漁の今後の取組について

問 本市の重要な水産資源であり、観光資源でもあるアサリの不漁が続いている。原因も分からず、毎年同じ対策でいいのか。今後はどうするつもりか。

答 県に対してアサリ資源の回復に向けた事業の促進を働きかけるとともに、県が行う調査・研究の結果等を踏まえ、漁業関係団体と、より効果的な対策を検討・実施する。

鈴木将浩 (自民党市議団)

新型コロナウイルスワクチン接種ウェブ予約

問 2回目のウェブ予約ができないケースや、ア



クセス制限のかかっていた状況があった。対応を伺う。

答 予約方法については、アンケート調査の結果を参考に、できる限りのシステム改修を検討する。アクセス集中には接種券の段階発送等の対策をとる。

デジタル格差の解消について

問 高齢者・障がい者・外国人等、いわゆるデジタル弱者に対して、各種団体等とも連携し、対応が必要と考えるがどうか。

答 対応がなかなか進んでいないが、実践する場や専門的な対応も必要と考え、民間事業者の活用も検討しながら、格差解消に向けた取組を進めたい。事業者にも県の施策をしっかりと周知し、活用してもらえようなフォロ

ーアップが必要ではないか。商工会議所と連携したデジタル活用セミナーの検討のほか、県の支援策等も周知し、市の施策の有効活用へつなげたい。

鈴木基夫 (自由クラブ)

国民健康保険について

問 子供に係る均等割の減免についての動向は。

答 全国市長会を通じ、子育て世帯の負担軽減を図るため、子供に係る均等割を軽減する支援制度を創設し、必要な財源を確保するように要望してきた。

法律改正により、令和4年度から未就学児に係る国民健康保険税の均等割額の軽減割合は7割軽減世帯では8・5割、5割軽減世帯では7・5割、2割軽減世帯では6割、これらの軽減が適用されない世帯は5割の軽減を受けられるようになる。軽減に係る公費負担部分は、国2分の1、都道府県4分の1、市町村4分の1の割合となっている。